

— 新春 ZOOM パネルディスカッション企画 —

実践中の経営者達が本音で語る 『真の事業発展計画書』の活用ノウハウ

特定非営利活動法人さいたま起業家協議会

企画担当：佐原雅史

貴社ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当会では2010年から約8年間にわたり、公益財産法人さいたま市産業創造財団と共同で、さいたま市のリーディングカンパニーを目指す経営者を育成する『さいたまベンチャーサポート塾』を運営しました。2017年の閉塾時、塾生の経営者達により、当協議会内の自主勉強会として「経営計画立案塾」を立ち上げることになり、それから4年間、毎月欠かさず勉強会を開催して、お互いに切磋琢磨しています。

「経営計画立案塾」の目的は、経営者同士で意見交換しながら、毎年、社長の夢や目標を「事業発展計画書」に落とし込み、それを「事業計画発表会」で従業員に伝え、全従業員で実行に移し、会社を成長・発展させることです。

「事業発展計画書」は、数字が並んだ一般的な事業計画とは根本的に異なります。失敗体験を経て、毎年作り替えながら、自分独自のスタイルでバージョンアップさせていきます。会社（社長）が異なれば「事業発展計画書」の内容も違ってくるのは当然です。

今回は、経営計画立案塾の参加者が、今までの「事業発展計画書の実践」から得た生々しい体験を、パネルディスカッション形式で公開いたします。皆様の会社を成長・発展させる際の参考になれば幸いです。

<新春 ZOOM パネルディスカッション>

○日時：2022年3月18日（金） 18時30分～20時00分（目安）

○パネラー（経営計画立案塾 参加者（あいうえお順））

株式会社 ICST 代表取締役 横井 博之

株式会社 エステック 代表取締役 須田 直樹

株式会社 チェリービー 代表取締役 山口 正人

株式会社 デジタルベリー 代表取締役 赤羽根 康男

株式会社 ブライナ 代表取締役 佐原 雅史（モデレーター）

武蔵野総業株式会社 代表取締役会長 太田 昇

○内容：（各社長から語っていただきます）

- ・パネラー紹介（各社簡単な自己紹介）
- ・「事業発展計画書」で一番大切にしているポイントは？
- ・「事業計画発表会」はどのように開催しているの？
- ・「事業発展計画書」の実践から得たメリットやデメリットは？
- ・グループディスカッション「各自の事業計画について」